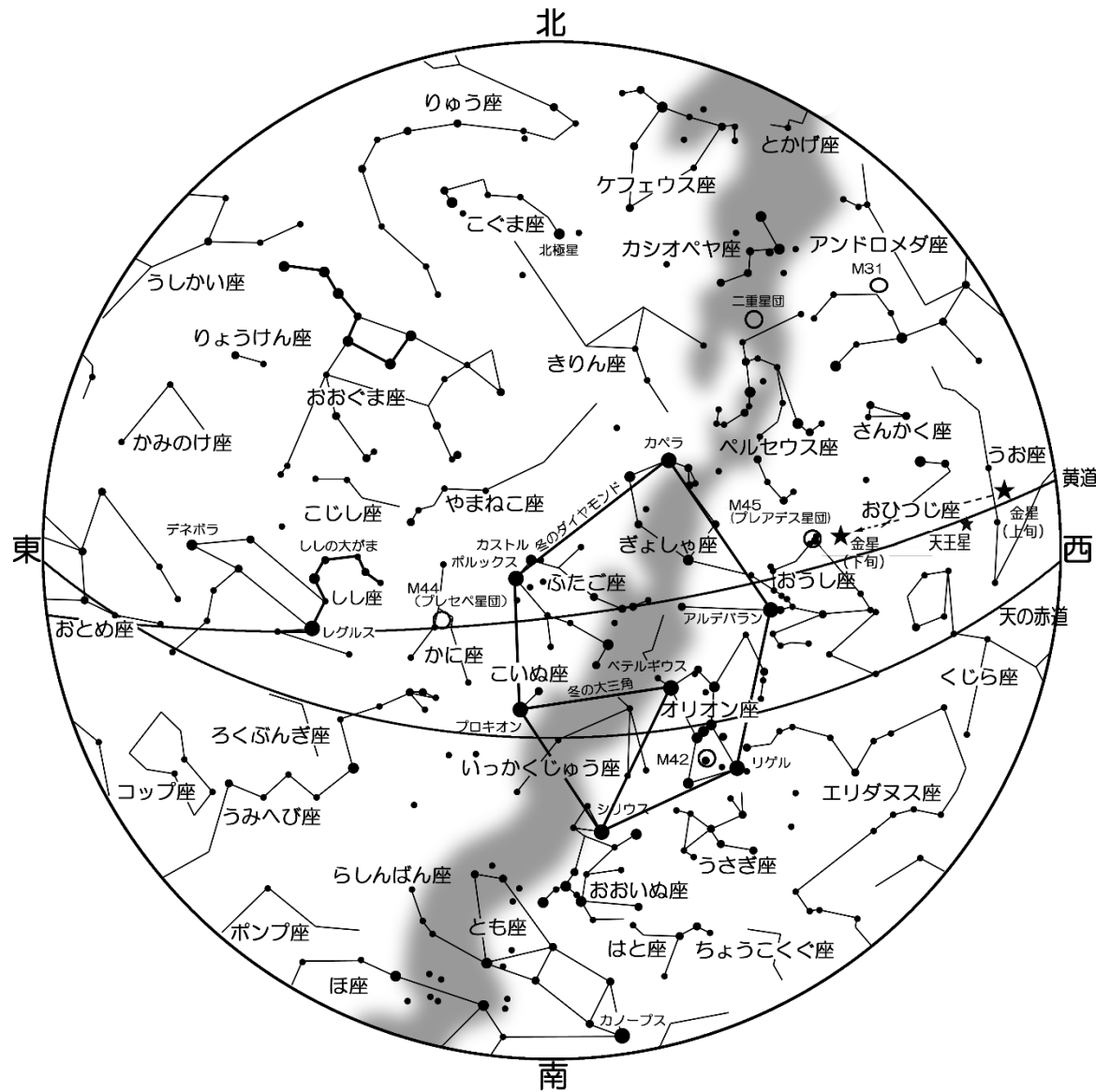


令和2年 3月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~



★3月の星空案内

3月の午後8時頃は、南から南西の空あたりで、オリオン座を見ることができます。オリオン座は等間隔に並んだ3つの星、“三つ星”が目印です。その左上で赤っぽく輝く1等星がベテルギウス、右下で青白っぽく輝く1等星がリゲルです。“三つ星”を北西にのぼしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバランが見つかります。反対に南東にのぼしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスが見つかります。そして、オリオン座の東側には、こいぬ座の1等星プロキオンがあります。このプロキオン、シリウス、ベテルギウスを結んでできる三角形を“冬の三角形”といい、冬の星座探しのよい目印になります。オリオン座の北側にやや黄色っぽく輝く星が、ぎょしゃ座の1等星カペラです。その東側には2つ並んだ明るい星が目印のふたご座があり、左側の明るい星が1等星のポルックス、右側が2等星のカストルです。そして、ぎょしゃ座のカペラを頂点にして、ポルックス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランの6つの星を結んでできる大きな六角形を“冬のダイヤモンド”といいます。

東の空には、春の星座たちが見え始めています。もうじき見ごろを終えようとしている冬の星や星座たちをお楽しみください。

< 現在見える惑星 >

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 水星(-1.1等前後):みずがめ座付近 | 日の出頃、東南東の低空で輝く。 |
| 金星(-4.3等前後):うお座→おうし座付近 | 日の入り後、西の空でひととき明るく輝く。 |
| 火星(1.0等前後):いて座→やぎ座付近 | 夜明け前、南東の空で赤っぽく輝く。 |
| 木星(-2.1等前後):いて座付近 | 夜明け前、南東の空で明るく輝く。 |
| 土星(0.7等前後):いて座→やぎ座付近 | 夜明け前、南東の空で輝く。 |

注目の天文現象 ~月と金星が接近！月の形や「地球照」にも注目してみよう~

日の入り後、西の空では、ひととき明るく輝く金星が目を行っています。3月27日から29日にかけては、その金星の近くを上弦前の細い月が通過するため、より一層目を引く光景となります。

空が十分に暗くなり、月をよく観察すると、月の暗い部分がうっすらと光っているのが分かります。この現象は「地球照」といい、太陽の光が地球で反射し、その反射した光が月の暗い部分を照らすために起こる現象です。「地球照」や、日ごとに大きく位置と形を変えていく月を観察してみるのもいいでしょう。

—4.4等もの輝きを放つ金星と細い月の共演は、まだ空に明るさが残るうちから観察できるため、夕焼けの残る西の空で、茜色から紺青へのグラデーションを背景に、地球・月・金星がおりなす美しい眺めをぜひご覧ください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	火	☾上弦 (04:57)	20	金	春分 (12:50) 久留米日出 06:22, 日入 18:30
10	火	☉満月 (02:48)	24	火	水星が西方最大離角 (11:06) ●新月 (00:32)
16	月	☾下弦 (18:34)			
18	水	夜明け前、南東の空で月・火星・木星・土星が集合	25	水	金星が東方最大離角 (07:14)